

<輝きホール概要>

最大席数 678 席

舞台に向かって円弧状に客席配置されたプロセニウム（舞台と客席を仕切る額縁）型ホールです。コンサートや演劇・舞踊の公演から式典・集会まで。時には舞台の音響反射板や昇降式の前舞台も使い、多彩なホール利用を実現します。



わあ。サインがいっぱい！

舞台の袖部分の板や音響反射板の側板（普段は舞台の上の方に吊ってあります）には今まで輝きホールの舞台に出演したプロアーティストさんたちのサインが書かれています。

初めてのサインは2005年に武豊春の国際音楽祭で出演したヴァイオリニストのイヴリー・ギトリスさんでした。



世界的ヴァイオリニストイヴリー・ギトリス氏
現役ヴァイオリニストでは最高齢の現在 97 歳。



たくさんのサインに
びっくり！

サインにまつわる思い出話

たくさんのサインの数以上の公演を開催してきました。ひしめきあって書かれているサインの中、他にどんな人が来ていたのか興味深く見ているアーティストの方もいらっしゃいました。

舞台袖では何やってるの？

公演中の舞台袖では、舞台の進行などをまとめる舞台監督さんをはじめ、いろいろなスタッフが暗い袖で働いています。



ここでブザーを鳴らしたり、幕を上げたりします

主催である会館職員も公演中は常駐して、制作や出演者側からの注文に応えます。舞台袖は出演者さんのプロ意識や、ふっと見せる素の表情などに触れることもできる緊張感あふれる場所です。

舞台袖の内緒話

「ノーパスタ、ノーコンサート」「1時にパスタね♥」

エスプリの効いた自由な演奏が魅力の某有名来日アーティストのこやかな第一声。1時からリハーサル予定だったが、近所の美味しいパスタ屋さんにテイクアウトを注文。食べ終わると楽屋でお昼寝。あれ？リハと打ち合わせはお昼寝の後かな？

ところが、そのまま開演15分前になってもお昼寝は続く。心配する譜めくりさんに大慌てで共演者と演奏の打ち合わせをしてもらう。

しかし、開演5分前になっても続くお昼寝。影アナウンスに「待った」をかけ、息を詰めて楽屋前に待機するも物音ひとつしない。

開演2分前。ついに共演者が楽屋に突入。「イッキマッスヨ〜」軽やかな日本語とともに連れ出し、無事定刻開演。ふ〜。。。。

アーティストさんにも感謝を込めて

楽屋裏では出演者さんへお食事や飲み物などのケータリングを用意します。

果物や温かいお弁当は大好評。時々地元の銘菓も並びます。ウェルカムカードにはアーティストさんに合わせたゆめっちのイラストが登場すること



があります。アーティストさんの Twitter などで紹介されていることも多いので、探してみてください。



山田姉妹さん、地元の銘菓と記念撮影
(写真は山田姉妹ブログより)

ウェルカムカードははじめの一歩

このウェルカムカードを初めて出したのは→Pia-no-jaC←でした。メンバーの方がSNSで紹介してくれたことが嬉しくて、その後続々と作っています。

熱烈
歓迎

その正体はトナリのオクサマ！



温かいおもてなしが人気です

コンサートなどでお客様をお迎えするフロントスタッフ。チケットの半券のもぎり、扉の開け閉めや、ロビーのご案内など、公演には欠かせないスタッフです。実はこのスタッフの皆さんはボランティアなんです！ゆめプラに行ってみたらびっくり！隣のオクサマがスタッフをやっている！なんてこともあります。皆さん人柄がよく、温かい雰囲気でお客様をお迎えしてくれるから、ゆめたろうプラザのフロントスタッフさんとはとても評判いいんです！よかったらアナタもフロントスタッフやってみませんか？もちろん男性も歓迎です。中にはご夫婦で活躍されている方もいますよ。

事件は舞台裏で起こっているのだ！

公演中にフロントスタッフでエントランスに待機していると、時々舞台袖から舞台スタッフが猛ダッシュで飛び出して一気に3階までの階段を駆け上るのを見ます。

普段はおっとりしていてもやさしいスタッフさんの真剣な表情と俊敏な動きに初めはびっくりしましたが、突然のハプニングも舞台スタッフの機転で公演は支えられているのね〜。といつも感謝しています。